2021

一般社団法人東京都作業療法士会「認知症の人と家族の生活支援委員会」

委員長 上村 淳



認知症に関する活動計画(概要)

1. 認知症と家族の生活支援委員会定例会議

2 認知症における作業療法の啓発普及推進

- 認知症アップデート研修
- 都士会ニュースの執筆
- 都民向けブログの執筆 など

3. 認知症関連の情報集約

- 他認知症関連団体との連携
- 認知症に関わる作業療法の実態調査 など

■ 認知症アップデート研修

ONLINEという形式にて、東京都のみならず全国の作業療法士を対象に「第4回認知症アップデート研修」を開催させていただき、北は北海道から南は愛知県まで、総勢100名以上の作業療法士から参加をいただきました。

また、いろいろONLINE開催についての反省点はありますが、「コロナだからこそ」、「ONLINE」だからこその強みを持ちながら、幅広い作業療法士の方々に「認知症作業療法」の基本を学べる環境を思案しています。

また、今後については「アップデート研修」の「ステップアップ研修」視野に入れ、検討してゆきたいと考えています。

COVID-19(新型コロナウィルス)の影響・対応など

東京都作業療法士会「認知症の人と家族の生活支援委員会」では、2021年7月11日 (日)に開催された「第17回東京都作業療法士学会」において、「コロナ禍において、私たち作業療法士はこんなことに気づいたプラスの視点(苦労したコロナ禍での作業療法を経験した私たち、"新たな発見があったはず"前向きに作業療法を考えませんか?)と題し、ONLINEでのグループワーク&認知症作業療法講座を開催しました。グループワークでは5グループに分け、当委員がファシリテーターとなり「コロナ禍」において様々な不安を持ちながら作業療法を提供してきた中で、「新たな発見」をグループ内で共有しました。

後半では4名の委員が代表しミニ講座を開催し、「自分たちが取り組んできた新たな発見」を振り返ることができました。

当日は学生から教員OTや臨床OTまで幅広く参加していただけました。委員会としても初めての形での開催で様々な不安だらけの開催になりましたが、前向きに開催できたと考えています。「コロナ」を理由にネガティブに考えるのではく、「コロナだからこそ我々作業療法士は前向きな生活を考えて行こう!」を合言葉に活動しています。

■ 認知症に関する広報事業

会員向けの都士会会報に、委員会の事業報告と認知症に関する広報を掲載している。 また、都民一般に対し、SNSやBlogを通して、気軽に読める認知症に関する事例紹介等 を発信し、認知症の啓発に努めている。